

暖かそうな帽子

前掛けあつが

本年は、いよいよ無く寒さの大変厳しい冬を迎えました。皆さんの日々はいかがでしたでしょうか。

春のお彼岸が近づいていよいよ「ハル」の気配もあまなくなってきましたが、「ハル」の気配は、境内の池も全面に氷が張り詰め、水鉢に張り詰めた氷が、一日中解けなかつたという「ハル」の敵いさが判ります。

雪国では想像を超える大量の雪に、犠牲者も出たり、除雪に苦労されておられる様子が、連日報道されるなどしました。

そんな寒さの中、寺の境内の六地藏さんと、墓地入口のお地藏さんに、暖かそうな赤い帽子と、前掛けを付けてくださった方がいらついています。

六地藏さんには、赤い糸で丹念に編んでくださった帽子と前掛けは、いかにも暖かそうなので、六人の地藏さんも「ハル」の微笑んでいるように見えます。

うに見えます。

墓地入口に立つお地藏

さんには、ゆつたりとした布で

頭と胸元を包み、「ハル」も気持ち

よそで、「ハル」も今年の冬は「ハル」の気配が

で「ハル」。あつが「ハル」です。

それにしても、お墓参りに寺を訪れる方々が、最近大変多くなって来たように思います。それも、い家族でお出かけになられる。きつ「ハル」先祖の方々も喜んでおられる「ハル」です。

今、寺の墓地裏の梅林には、真紅の梅や純白の梅の花が満開に咲き揃い、数本ある寒桜も可憐な花を付けています。

先回「ハル」案内した「カンアヤメ」も、今、盛んに花を付けて心を癒めてくれています。

「ハル」三月十九日から「ハル」の「ハル」開催いたします。「ハル」。

支所檀信徒総代長も

務め終って 系井武男

四年前、常楽寺住職が、群馬県東部宗務支所長を引き受けられたため、支所長の寺の総代長が支所下全体の檀家さんを代表する、群馬県東部宗務支

所「檀信徒総代長」の重責を引き受けることとなり、平成二十年四月から、「群馬県東部宗務支所檀信徒総代長」を務めさせていただきました。

群馬県東部宗務支所の範囲は、伊勢崎市・桐生市・太田市内の二十九ヶ寺で構成されています。

先に三回、やぶつか温泉「ふせじま館」をお借りして、支所下の各寺院から、大勢の檀徒の皆さんに参加していただき、「群馬県東部宗務支所・檀信徒研修会」を開催させていただきました。

また、群馬県東部宗務支所下の檀信徒を代表して、毎年開かれる「全国檀信徒会長協議会」にも参加し、全国の代表の皆さんと交流し、色々勉強させて頂きました。ありがとうございました。

平成23年度常楽寺護持会会計報告

滋忠 秋康
坂庭 安達
会計 会計

〈収入〉

繰越金	179,357円
会費収入 343戸	686,000円
利息	57円
収入合計	865,414円

〈支出〉

平成23年度宗費賦課金	393,400円
常楽寺境内植木手入れ助成金	200,000円
支出合計	593,400円
収支残高	272,014円

〈会計監査報告〉

平成23年度常楽寺護持会会計決算について、証憑書類等監査の結果正確であり適切であったことを認めます。

平成24年3月20日

重成 榎本
勇 山木
会計監査 会計監査

